

今週の感染症発生動向

インフルエンザの発生は、彦根保健所管内で再び微増

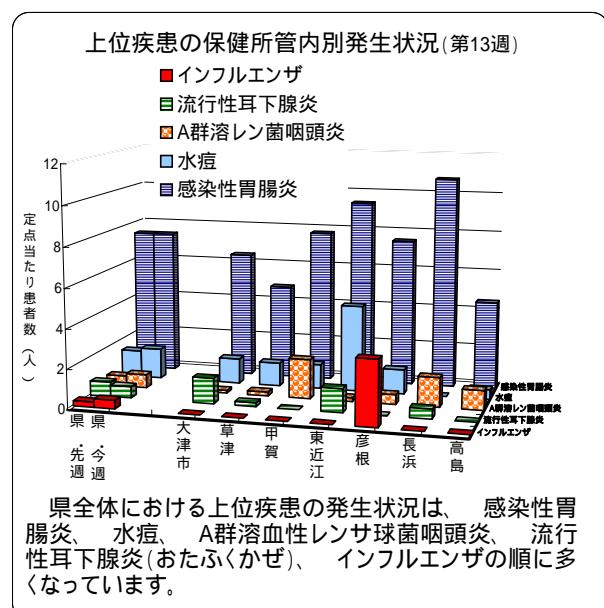
一類~五類全数報告感染症の発生状況(第13週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 5名**
- ・三類感染症----報告はありません
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----報告はありません

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週とほぼ横ばいで、今週は372名となっています。今週増加した疾患は、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症、手足口病等です(週別発生状況については、疾患別点当たり患者数のグラフ参照)。

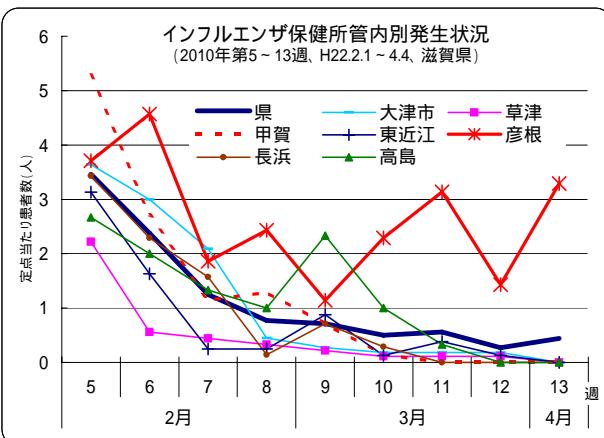
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、水痘では、東近江で注意報発生基準値(定点当たり患者数 4.00)を超えていました。



インフルエンザの発生状況

第5~13週(2/1~4/4)における彦根保健所管内の定点当たり患者数は、1.14~4.57で推移しており、他の保健所管内よりかなり多くなっています。また、県全体の年令群別発生割合は、0~4歳 20.0%、5~9歳 26.4%、10~14歳 14.0%、15~19歳 8.7%、20~29歳 11.3%、30~39歳 9.3%、40~49歳 4.1%、50~59歳 3.2%、60歳以上 3.0%となり、0~9歳で全体の46.4%を占めています。

全国におけるインフルエンザウイルスの分離・検出状況では、新型インフルエンザウイルスが大部分ですが、インフルエンザウイルスB型の報告もやや増加しています。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき 医師は保健所に届出ことになります。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(*)1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 (13週) (12週注)	全国 ^(*)2)	滋賀	全国 ^(*)2)	滋賀	全国 ^(*)2)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	64	4,956	256	26,932	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	37	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	2	240	27	3,886	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	18	1	56	0	43
	A型肝炎	2	69	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	28	0	93	2	104
	マラリア	0	14	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	120	8	712	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	3	187	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	39	3	220	5	241
	急性脳炎	0	70	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	32	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	33	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	287	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	16	0	73	1	75
	梅毒	2	123	3	692	5	839
	破傷風	0	14	3	113	5	123
	風しん	1	16	2	148	2	309
	麻しん	0	97	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)3)	0	0	138	12,639	- ^(*)4)	- ^(*)4)

注: 13週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。

* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 3: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)

* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一方所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(定点当たり患者数 = 患者報告数 / 定点数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第8～13週、2/22～4/4)

定点区分	定點数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)									
			8週	9週	10週	11週	12週	13週	週			
			2/22～	3/1～	3/8～	3/15～	3/21～	3/29～	0	10	11	12
インフルエンザ	52	インフルエンザ	0.77	0.71	0.50	0.56	0.27	0.44				
小児科	31	RSウイルス感染症	1.23	1.32	0.68	0.61	0.26	0.06				
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.13	0.26	0.06	0.29	0.16	0.16				
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.87	0.71	0.84	1.13	0.55	0.68				
		感染性胃腸炎	10.13	10.19	8.39	7.97	7.39	7.39				
		水痘	1.74	1.42	1.65	2.19	1.39	1.55				
		手足口病	0.23	0.45	0.45	0.68	0.45	0.35				
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.16	0.06	0.06	0.03	0.10				
		突発性発しん	0.26	0.23	0.23	0.55	0.35	0.19				
		百日咳	0	0.03	0	0	0	0.03				
眼科	8	ヘルパンギーナ	0.03	0.03	0.13	0	0.10	0.13				
		流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.42	0.35	0.42	0.42	0.74	0.58				
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0	0	0.29	0	0.14				
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0				
		マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0.14	0.29	0.14	0				
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0.14	0	0				

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……流行性耳下腺炎
減少傾向……インフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第13週、3/29～4/4)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況 (県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.44	0	0	0	0	3.29	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0.14	0	0.25	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.16	0.71	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.68	0.14	0.20	2.00	0.20	0.50	1.50	1.00	
感染性胃腸炎	7.39	6.43	4.80	7.75	9.40	7.50	10.75	4.50	
水痘	1.55	1.29	1.20	1.25	4.40	1.25	0	0.50	
手足口病	0.35	0.14	0.20	0	0.20	0.25	1.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0.14	0.20	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.19	0.14	0	0	0.60	0.50	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.13	0	0	0	0	0	0	2.00	
流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.58	1.29	0.20	0	1.20	0	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性結膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

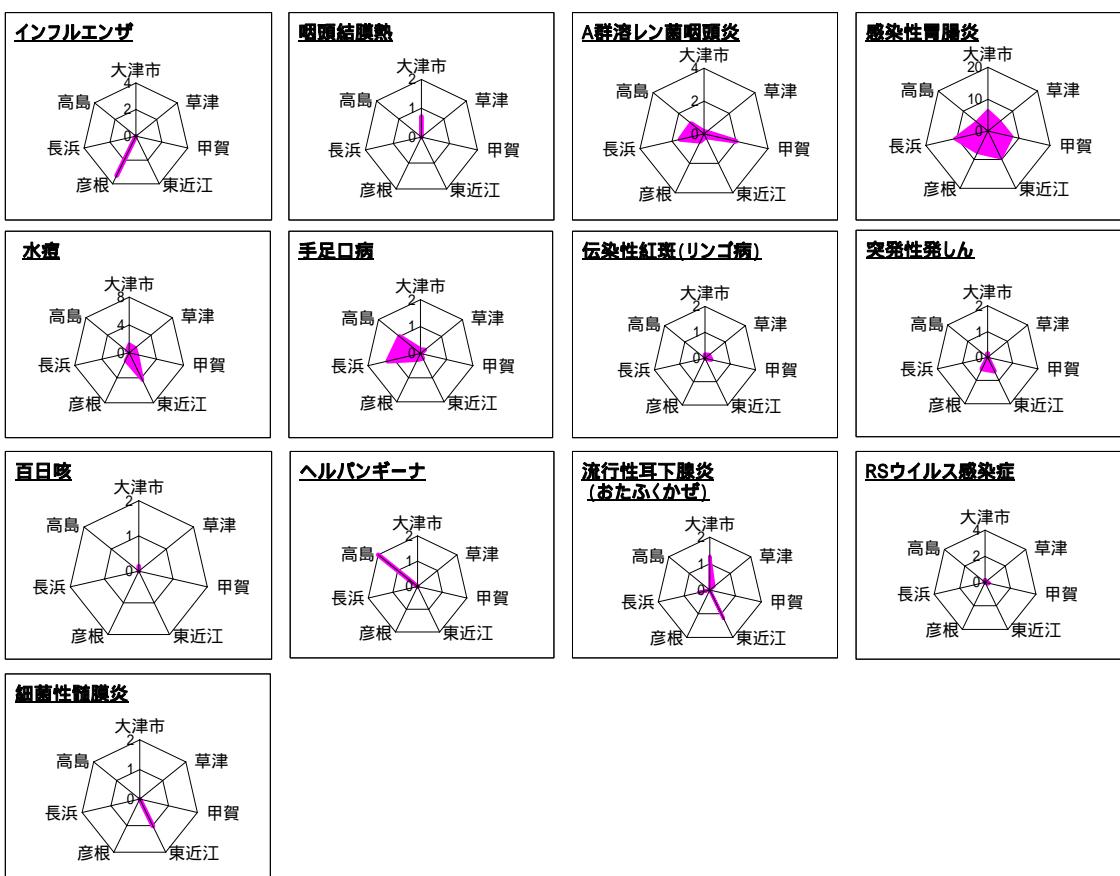
赤・太字は警報発生基準値を超えてます。

青緑・太字は注意報発生基準値を超えてます。

0 2 4 6 8 10

定点当たり患者数

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

RSウイルス感染症-----先週多かった高島で減少し、県全体としては第6週(2/8～2/14)以降、連続して減少傾向を示しています。

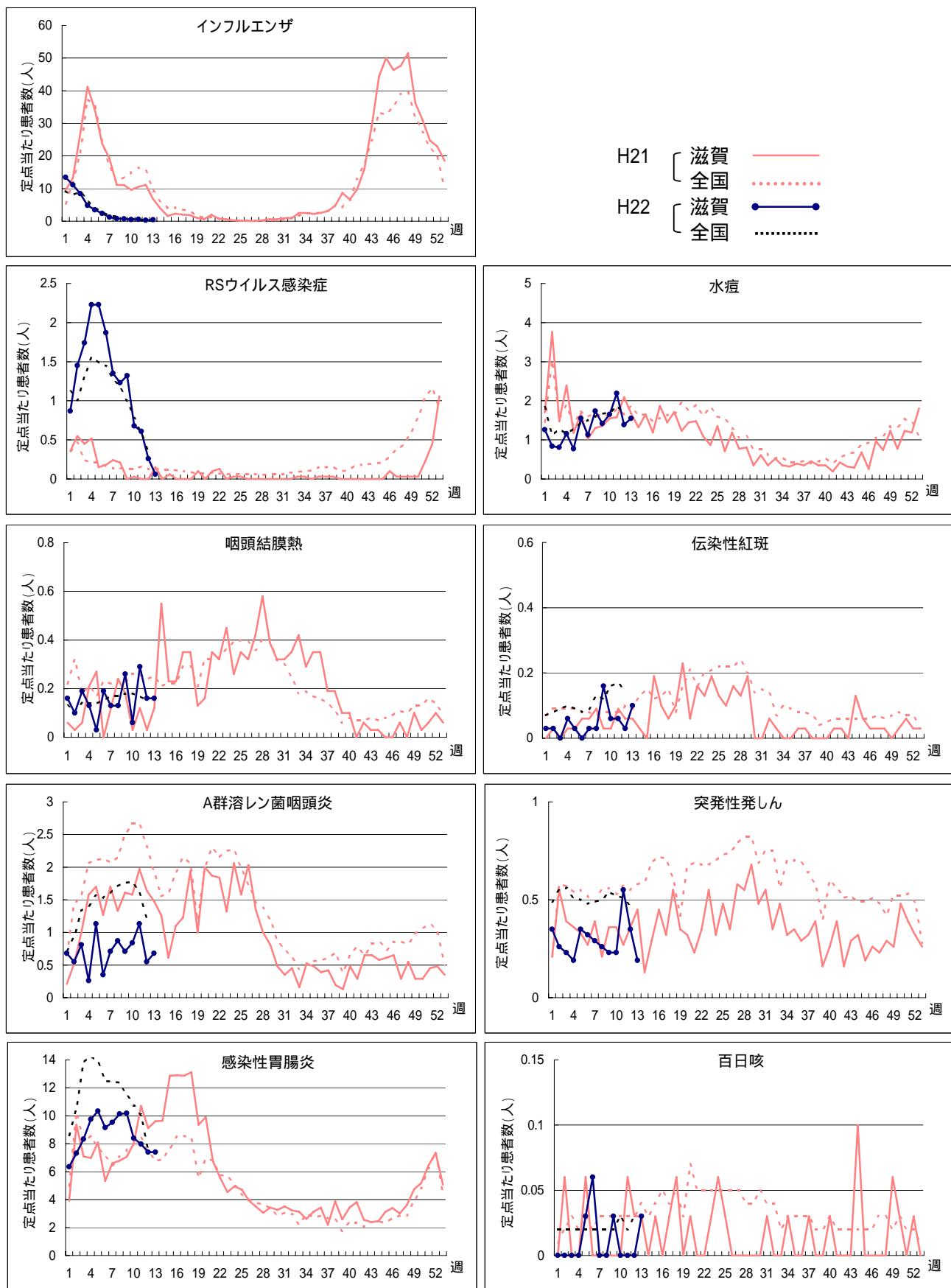
A群溶レソ球菌咽頭炎-----県全体では先週よりやや増加しており、甲賀、長浜および高島で先週よりも多くなっています。特に、甲賀ではかなり多くなっています。

感染性胃腸炎-----県全体では先週とほぼ横ばいとなっています。また、第10週以降(3/8～3/14)連続して減少しています。

水痘-----草津、甲賀および東近江で先週より急増しています。特に、東近江の定点当たり患者数は4.40と多くなり、注意報発生基準値を超えてます。また、先週多かった長浜からの報告はありません。

手足口病-----先週多かった長浜では、半減となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成22年第1～13週、H22.1.4～H22.4.4)



[トップページに戻る](#)

疾病別定点当たり患者数(平成22年第1~13週、H22.1.4~H22.4.4)

